

地域における取組例【新素材】 高齢者福祉施設ネットワークを活かした現場ニーズ製品創出と販路開拓

**株式会社カネマス
(埼玉県羽生市)**

- 60年に亘り蓄積された繊維のノウハウを活かし、加工側、使用側からみた素材の開発をする事を得意としている。
- 学校向けジャージの製造がメインであるが、昨年から**高齢者福祉施設向けの製品開発に着手**し始めている。

**ポテンシャル
(強み)**

- 埼玉県羽生市は、古くから縫製産業が盛んな「衣料のまち」として歴史がある。
- **撥水するジャージ生地「MINO」(特許取得済)を開発**し、埼玉県から新素材の製品群を展開していく。

取組内容

- **「車いす用レインウェア」の事業化** (最終現場評価の実施) と高齢者福祉施設における新たなニーズの発掘。
- 高齢者福祉施設向けの販路開拓支援。

